

看護ながの

2023.1.1

No. 134



特集 地域性のある看護 — P8-9



新年のご挨拶 P2-3

支部だより P4-5

四機能委員会報告 P6-7

こんなところに看護師さん P10

理事会報告 P11

お知らせ広場 P12

新年のご挨拶



公益社団法人長野県看護協会 会長 松本 あつ子

皆様明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症への対応はすでに3年が過ぎようとしています。ワクチン接種の普及が進み重症化のリスクが低い状況から生活はWithコロナへと転換がはかられましたが、皆様は世間の方とはかけ離れた会食や旅行を我慢して生活や活動を続けていらっしゃると思います。現場で働く皆様に心からの御礼を申し上げます。さて、昨年の2月から國の方針に則り看護職の大変さに対して評価する手当てを手にした方もおられると思います。しかし、まだほんの一部に過ぎないこともあります。

一方、日本看護協会は国への要望を積み重ね、国は昨年12月に看護師のキャリアアップに伴う処遇改善について、看護師に係る人事院規則医療職俸給表（三）の見直しを行いました。厚生労働省から各医療機関に対して処遇改善推進を検討することが通知されています。これを好機に、仕事内容や責任の重さに見合ったものとなるよう皆さんも自分たちが置かれている状況をしっかりと把握して看護職一人ひとりが職場の賃金制度に関心を持ってもらえたならと思います。

今年が皆様にとって良い年になることを祈念して新年のご挨拶といたします。



一般社団法人長野県医師会 会長 竹重 王仁

明けましておめでとうございます。

長野県看護協会並びに会員の皆様方には、日頃から県民の健康保持・増進と福祉の向上のため看護事業に取り組まれ、「健康長寿日本一」を目指す長野県の重要な一翼を担っていただいていることに心から敬意を表する次第です。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日本国内また県内でもその対応とワクチン接種に全力を挙げているところですが、看護職の皆様方には、医療の最前線で感染リスクに向き合いながら懸命に対応いただいていることに心から感謝を申し上げます。

地域医療の中核を担う県内の医療機関は、県民の期待に応えるべく、コロナ医療と一般医療の両立を図りながら医療の提供に努めておりますが、医療環境はコロナ禍において大きく変化し厳しさを増しております。また、県民が健康で文化的な生活を維持するためには、質の高い医療・介護を安心して受けることができるwithコロナの時代に対応した医療提供体制の整備や、健康管理・予防医療に係る環境づくりが求められております。

看護職員は医療の高度化、人口の少子高齢化に伴う対応の複雑化などにより、そのニーズはますます高まっており、看護職員の養成・確保は喫緊の課題です。国や県では、復職支援や勤務環境の改善を施策の柱とし、プラチナナースのセカンドキャリア支援事業、新型コロナウイルス感染症に対応する医療人材確保のための「医療のお仕事Key-Net」等の取組みが行われています。県医師会としても施策推進に大いに期待しているところです。

一人ひとりが健康で、生涯にわたり生き生きと暮らせることは県民の願いであります、われわれ医療従事者の思いでもあります。「健康で長生き」を目指し、医療・介護・福祉の現場でともに頑張りましょう。

結びに、長野県看護協会の皆様方のますますのご活躍を心から祈念申し上げ新年のあいさつといたします。



一般社団法人長野県歯科医師会 会長 伊藤 正明



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

終わりの見えない新型コロナ禍において、最前線でご尽力いただいている看護師の皆様に心から尊敬と敬意を表します。

昨年の歯科界における大きな話題として、「骨太の方針2022」に「国民皆歯科健診を具体的に検討する」と記載されたことが挙げられます。様々なエビデンスの蓄積で、歯科口腔保健推進に関する大きな前進であると考えられます。一方で、実現までには議論を深める必要がありますので、正確な情報発信に努めて参ります。この「国民皆歯科健診」の狙いは口腔の健康をチェックすることで、全身の健康増進に寄与し、健康寿命の延伸に繋げていくことにあります。看護師の皆様との連携を深めて様々な問題や訪問歯科治療に取り組んで参りますので、引き続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。

2023年の干支は「うさぎ」です。皆様にとって飛躍の年になることを祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

～人のつながり、未来へ紡ぐ～

一般社団法人長野県薬剤師会 会長

日野 寛明



新年明けましておめでとうございます。

長野県看護協会の皆様には、本会事業に格段のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。終息の兆しが見えないコロナ禍、皆様の献身的なご奮闘に改めて敬意を表します。

急速に進む人口減少・超高齢化社会にあって、2025年、2040年を見据えた持続可能な全世代型社会保障制度の構築、他職種連携の強化等を目指した社会保障制度改革が始まりました。

貴協会は、専門講座、教育システム等を通じて、資質の向上と地域看護の推進に努め、県民の健康と福祉の向上に寄与されています。

私達薬剤師は、様々な医療現場において、今後も看護師皆様と今まで以上に連携を図り、適正な医薬品の提供や服薬指導等を通じ、地域医療、保健衛生の向上にその役割を果たしてまいりたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。

長野県看護協会の益々の発展と会員皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



公益社団法人長野県栄養士会 会長 馬島 園子

令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より長野県看護協会の皆様方には、長野県栄養士会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスは終息を見せず、会員の皆様がそれぞれの職場で大変なご苦労をされて、業務の遂行のために日々ご尽力されてこられましたことに心から敬意を表します。

さて本会では、昨年フレイル対策のために『お手軽レシピ集』を作成して住民の方に活用していただいています。国が目指す2025年の地域包括ケアシステム稼働には、多職種協働が欠かせません。保健・医療・介護・福祉の場で『食と栄養』を通して、貴会の皆さまと連携して県民の健康長寿に貢献したいと考えておりますので、本年も当会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

支部だより

特徴を踏まえ住み慣れた地域で
暮らし続けられるように頑張っている
各支部の活動を紹介します。

春季



大町支部

支部長 降旗 菜穂子

今年度もコロナ感染対策に務めながら、6月には支部集会・研修会を実施しました。「心の健康 適切な距離感としなやかな生き方」のタイトルでメンタルヘルスに大きく影響を与える人との距離感や傾聴などの研修会でした。コロナ禍であっても活動を行っていきたいと役員一同思い、役員会はZOOMを取り入れ毎回実施しています。その後のコロナ感染状況で、支部の活動や研修に人員が確保できない状況もありやむなく研修を中止しました。今後もい



いろいろな状況下であっても、地域の皆様に貢献できるよう安心安全で実施できる方法を考えいかなければなりません。次年度の活動を企画運営していきたいと思います。



大町支部

松本支部

木曽支部



松本支部

支部長 胡桃 伸子

制約の多かった昨年迄に比べると順調に支部の活動が行えていると感じています。特に「まちの保健室」事業については、急な申し込みにも協力して臨機応変に対応することができ、地域の方々や今後看護師を目指したいと思っている生徒の要望に応えられたことは、役員の喜びや自信にもなりました。研修形態は、感染状況により、その都度変更を余儀なくされました。参考集で行えた研修もあり、感染対策をしっかりと行い工夫しながら、少しずつ感染症と共存できていると実感しています。研修は、ACPやマインドフルネスといった市民の方々や働く看護職にも活かせる内容でもあり、多くの方に参加していただけるよう、次年度も工夫していきたいと思います。



北信支部

支部長 佐治 瑞恵

6月の支部集会後に新旧役員の引継ぎを行い、昨年に引き続き、コロナ感染症対策に努めながら支部活動を実施してまいりました。新型コロナ感染症新規感染者が6月下旬から増加傾向となる中、7月に予定しておりました地域の高等学校学校祭において「まちの保健室」を無事開催することができました。「まちの保健室」活動の中で、高校生や中学生の進路アドバイスも行うことができました。中学生と一緒に来場されていたお母さまから、「具体的なお話が聞けて参考になりました。」とお言葉もいただきました。看護の道を考えている学生さんや、他の医療系や救急救命士など、様々な部門で今後の進路を考えている学生さんと触れ合う貴重な時間となりました。



長野支部

支部長 吉澤 美智子

長野支部では、7月9日に支部集会を開催後、「アドバンスケアプランニング」について愛和病院の平方眞先生にご講演をいただき70名の参加がありました。また、災害研修を3回シリーズで計画していますが、第1回目のDIGの研修が感染拡大に伴い中止となってしまいました。9月のエマルゴ訓練は予定通り開催することができました。実際、災害が発生した場合、医療者の我々はどのような動きをするのか、スタッフの配置、連携についてなど学ぶことができ、非常に活気のある有意義な研修となりました。10月は、まちの保健室を実施することができ、地域住民の方との交流の場となりました。今後も、支部役員の皆さんと協力し、支部活動を継続していくたいと思います。



木曾支部

支部長 小山 恵子

木曾支部では、7月2日に市民公開講座「健口寿命を延ばそう!!～最期まで自分で食べられる人生を～」を開催しました。信州大学医学部附属病院特殊歯科・口腔外科助教田中宏和先生に「お口の環境と全身疾患の関係」、ゆうあい歯科医院歯科医師の井出隆一郎先生には「摂食嚥下と口腔トレーニング」についてご講演頂き、口腔体操を楽しく学びました。木曾郡民、行政、医療・介護職17名の参加がありました。10月29日には「いのちの終わりを話し合う人生会議（ACP）を地域で根付かせるために～今、私たちができること～」をテーマに、木曾広域連合と共に開催し、松本医師会医療と介護のコーディネーターである岡村律子先生にご講演頂き、22名の参加でした。どちらもハイブリッド研修とし、協力して精一杯の運営をしましたが、Web参加者のグループワーク内容の検討や機器の取り扱いが課題です。「まちの保健室」は、コロナ禍で開催時期や場所を検討し、10月8日に信州木曾看護専門学校の学校祭で開催しました。来場者はこどもから90歳代と幅広く、人気の血管年齢測定と体脂肪率測定を62名に実施しました。看護学生をはじめ若年層には、看護職の仕事をPRするとともに、進路相談を行うことができました。今後も看護職確保にも繋げていきたいと考えています。



保健師職能委員会

今年度の研修は、内容や参加者数に応じて開催方法を検討し実施してきました。まず、国保連との共催研修は、データヘルス計画をテーマにオンライン形式で開催することで多くの受講がありました。

一方、助産師職能との合同研修や県内看護系大学及び長野県と連携し開催している体系的保健師研修は、グループ演習等により、研修理解を深めるため集合研修としました。受講者が定員に満たない研修があったことは残念でしたが、委員会では受講者の声や研修内容の発信、開催時期やオンライン形式で研修目的が達成できるか等検討し、今後も皆さんのが参加しやすい研修を考えていきます。

次に、年2回開催している地区支部保健師役員との合同会議では、現場の声を集約しています。その中では、コロナ対応や目まぐるしい制度改革で新たな事業が増加し、保健師が疲弊しているという声が多く聞かれました。来年度に向けて、保健師自身の元気ができる研修も検討していきます。



助産師職能委員会

2022年度は感染状況を見ながらではありますが、集合での研修が多くなってきました。そして、ハイブリッドの研修も会を重ねるなかで、会場とオンラインで一体感を持てるようになってきています。オンラインの利点はどこからでも参加できるところで、南北に距離の長い長野県で移動の負担なく、参加しやすいというご意見もあります。今後も、効果的な運営方法や工夫を加えながら、多くの会員が参加できる運営を心掛けたいと思います。

研修内容としては、新人助産師研修は各施設の新人と先輩助産師、地域の母子支援については保健師と合同研修、産科管理者連絡会、産科管理者研修は管理者の方々を交えて開催しました。

職種、立場、経験を超えてつながる研修が成果となって表れてきていることを感じています。どちらもコロナ禍で対話の機会が少ないなかでそれぞれの現状や取り組みを共有することができました。今後もニーズに合わせた企画、運営を心がけたいと思っています。

委員長 町田 和世



委員長 山名 寿子



員会報告

看護師職能委員会Ⅰ

委員長 堀内 清美

看護師職能委員会Ⅰ(病院領域)では、コロナ禍の中ですが、新人看護師・准看護師研修は開催時期や開催方法を検討しながら実施しています。

地域包括ケアシステムの推進のためには、病院と地域が連携し患者さんを支えていく必要があり、看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設や在宅領域)との連携強化に向けて合同研修会を11月に開催しました。茨城県立中央病院看護局長の秋山順子先生をお迎えして、「病院から地域への療養移行の再考」をテーマに講演会とシンポジウムを行いました。会場からも質問があり、活発な意見交換がされました。看護がつながることが大切であり、今後更なる連携の強化に向けて取り組みたいと思います。

また、現場の意見集約のために、看護協会支部役員との合同会議も開催しました。職能集会のテーマであった職場の心理的安全性を高めるための取り組みについて意見交換を行いました。研修での学びを活用した取り組みを理解し、共有することができました。



看護師職能委員会Ⅱ

委員長 吉澤 美保

看護師職能委員会Ⅱでは、介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題の把握や、資質をより高めるための活動をしています。

今年度は、6月の職能集会で「介護・福祉施設・在宅等領域で取り組むべき課題～高齢者虐待防止推進やハラスメント対策等～」について、県内の介護・福祉関係施設で働く看護職の実践発表をお聞きし、さらに意見交換を行いました。参加者からは、実践に活かせる現場の取り組みの参考になった等の感想が寄せられました。

11月には、看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同研修会を開催しました。「病院から地域へ



療養移行の再考～暮らしを見据えた看護連携～」をテーマに病院と在宅・施設・地域連携について学習し看護連携の重要性を再確認しました。

看護師職能委員会Ⅱだよりを9月に発行し施設や在宅で働く看護師の役割や魅力を紹介させていただきました。会員数が少ないことが課題ではありますが、住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう支援し活躍している、介護・福祉関係施設・在宅領域看護師の魅力を更に発信し、地域でのつながりが深まることを期待したいと思います。



つなぐ看護

Vol.12

南北に長い長野県。それぞれ地域独特の看護があります。今回は地域性のある看護を紹介します。

飯山赤十字病院

長野県立阿南病院

長野県立病院機構
長野県立阿南病院
片桐 由美子

当院は長野県最南端の病院で梅や桜の開花も早く、県内ではいち早く春の訪れを感じることができます。近隣の町村は高齢化が著しく、過疎地域であるが故の理由で、病院から地域に出る機会が度々あります。



その一つが、無医地区に出向き診療を行う巡回診療です。巡回と言いましても、現在は、一ヵ所のみでの診療で、趣のある旧分校の木造校舎での診療。ベッド一つの診察室ですが、ポータブルの医療機器を積極的に使用し、へき地であっても実施できる検査は増えてきています。看護部では、部署に関わらず院内すべての看護師が交代で巡回診療に携われる体制にしています。また、救急車到着までに時間を要する山間部では中学生も命を救う担い手にと、中学生対象のBLS講習会を消防署との連携で実施しています。診療圏内の中学校7校に出向き行っています。

業務に追われる日常の中でも病院から一歩出ると四季折々の景色を堪能でき、地域の方々とじっくり関わる時間が持てることが、山間（やまあい）にある当院の良さであると言えます。





飯山赤十字病院
飯山赤十字訪問
看護ステーション
上松 美枝

長野県の最北端の地域で病院に併設された訪問看護ステーションです。この地域は、春夏秋冬の季節がはっきりしており、四季折々の楽しさがあります。特に私たちの地域の冬は、豪雪地帯です。最近は、雪の多い年と少ない年がありますが、それでも毎年の雪の壁は、1～3mあります。地域の財産でもある雪は、比較的邪魔ものにされやすいのですが、ひとたび雪景色となると私たちを楽しませてくれます。



かまくら祭りでは、真っ白な雪原に大きなかまくらが20基ほど並ぶことや、訪問宅の玄関先では、“カモシカ”が出迎えてくれることなど驚くこともあります。この季節ならではのことです。そして、雪道は路面が凍り、車が滑ることや道幅がわかりにくくなり、運転に困ることもあります。長靴とジャンパーを着て、車には雪かきス

コップを積み訪問しています。利用者様から「雪の中ご苦労様」と、労いの言葉をいただくと大変なことも吹っ飛んでしまいます。また、訪問バッグの中には、温かいお湯、お茶をペットボトルに入れて、温かい手で利用者様へ触れられるように工夫しています。これからもどうぞよろしくお願ひします。

今回は保健師さん

“こんなところに看護師さん” Vol.5

長野県庁 健康福祉部感染症対策課 保健師 北原 智美さん

長野県庁では23名の保健師が働いています。今回、県庁の保健師の仕事についてご紹介する機会をいただきました。7部署すべての保健師さんからコメントをいただき紹介をしたいところですが、筆者が所属している“感染症対策課”的業務を中心にお話したいと思います。



しあわせ信州

県庁保健師の配置

総務分野	職員課	3名
医療分野	医師・看護人材確保対策課	3名
保健分野	健康増進課	3名
	保健・疾病対策課	5名
	感染症対策課	5名
福祉分野	介護支援課	2名
教育分野	保健厚生課	2名

保健師の担当業務は大きく2つに分かれます！

〈感染症対策業務〉

HIV/エイズ・性感染症対策業務、予防接種業務、ハンセン病に関すること、風しん対策業務

〈新型コロナウイルス感染症対策業務〉

疫学調査のデータ収集、相談窓口業務、クラスター対策、軽症者登録センター、後遺症etc...

感染症対策課 保健師の仕事

保健師の仕事というと、訪問や面接、電話相談など地域住民の方を対象とした対人支援をイメージすることが多いと思いますが、当課で継続的な対人支援を行うことは基本的にありません（もちろん、県民の方から感染症に関するお問合せはありますので、電話の対応はあります。コロナが始まってからは、療養期間や検査、療養証明についてなど様々な電話が県民の方からあります）。

当課では、国や県の感染症対策に関する政策について市町村や保健所、県民の方に対する周知、関係機関との調整、県内の体制整備などをメインに行ってています。国から発出される難解な（？）用語が記載された法律や通知を読み解き、時には国や他県と直接やり取りし、県内の体制にどのように落とし込むか、どのように対応していくのが良いかななどなど日々頭を悩ませています。特に、コロナが始まっていますから、医療的な知識を持った立場で、府内各課や関係機関との調

整、体制整備、他県との連絡調整などを行う機会が増えたようになります。



大切にしているバイブル達

また、県庁勤務ということで、担当業務の予算編成や議会対応のための資料作り、補助金の申請、県内保健所で実施する諸々の事業の委託契約などなど、ザ・行政という仕事も、行政職のプロである事務職の方に助けてもらいながら、日々頑張って行っています。

保健所などの現地機関と比較して、“行政”色が強い職場ではありますが、そのなかでも看護職（保健師）としての視点や考え方、知識を大切に、看護職の一員であるという誇りをもって日々の業務にあたっていきたいと思っています。

最後になりますが、今まで多くの看護職の皆様や関係機関の皆様にご尽力をいたしました。コロナ終息の目途は経ちませんが、この場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



»「訪問看護総合支援センター」2023年4月の開設に向けて

超高齢化の進行、地域包括ケアシステムの推進により、住み慣れた地域で安心・安全な生活を支える在宅の場での看護師の活躍が期待されています。

長野県は常勤換算5人以下の訪問看護事業所が多く、人材確保や人材育成が課題となっていることや、新規開設したが経営状況が安定しない、制度のことが分からぬなど抱えている課題はさまざまな状況があります。

そこで、このような課題を一体的・一元的に取り組み、訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点として「訪問看護総合支援センター」を設置することを決め、2023年4月開設を目指し準備しています。

訪問看護総合支援センターの事業内容

1. 訪問看護支援事業（長野県受託事業）

- 1) 訪問看護事業所運営基盤整備：コンサルテーション
- 2) 訪問看護事業所の新規開設支援
- 3) 潜在看護師、プラチナナース等の就業及び転職支援
- 4) 新卒看護師採用に向けた取り組み
- 5) 訪問看護に関する調査
- 6) 教育・研修の企画、実施

2. 地域住民への訪問看護周知と活用推進

- 1) 在宅看取りに関する取り組み

3. 長野県訪問看護ステーション連絡協議会との連携

- 1) 事務局に関すること

»研修申込には個人マイページ登録をお願いします

研修申込・受講料支払手続きのウェブへの移行にご協力いただき、感謝申し上げます。

個人マイページを登録していただき、より便利に活用してください。

★個人マイページを登録すると

施設担当者一括申込
で、施設支払／個人
支払を選択できます

研修に関するお知らせが受講者本人に直
接届きます

受講者本人が資料や
課題をダウンロード
できます

オンライン研修は受
講者の個人マイペー
ジ登録が必須です

《その他のお願い》

- ◆マイページへの各種お知らせをタイムリーに確認するために、「登録情報変更」から「各種お知らせの案内を受け取る」にチェックを入れてください。マイページへのお知らせ配信をメールでお知らせします。
- ◆会員になる前に非会員で登録した方は、会員手続が済んだら、「登録情報変更」で会員への変更を行ってください。そのまま研修を申し込むと、非会員受講料となります。
- ◆研修の申込期間、支払期間をよく確認して、各期間中の手続きをお願いします。

»2023年度 公益社団法人 長野県看護協会 定時総会について

下記のとおり、定時総会を開催いたします。

記

日 時 2023年6月17日（土）9時00分～15時30分 定時総会及び職能集会
場 所 長野県看護協会会館 松本市旭2-11-34

詳細については、2023年4月に送付する開催通知にてお知らせいたします。

理事会報告

第7回理事会（12月1日開催）

〈協議事項〉

- (1) 2023年度日本看護協会名誉会員、
日本看護協会長表彰の推薦について
- (2) 「理事・支部長・委員長合同会議」から抽出
した課題と2023年度事業計画について

〈報告事項〉

- (1) 日本看護協会理事会報告
- (2) 2022年度上期収支予算の執行状況及び決算見込みについて
- (3) 2023年度厚生労働大臣表彰候補者について
- (4) 協会立訪問看護ステーション上期収支報告
- (5) 「県への要望」報告

2022年度は新型コロナウイルス感染症が続く中、ハイブリッド形式で研修や学会、会議を実施してきました。2023年度も収束の見通しが立たず医療現場の負担が続きそうです。会員の皆さんに少しでも役立つ活動を考えて進めたいと思います。

就職ガイダンス 「信州で看護。」 2023

長野県で看護職として働きたい方(看護学生・看護職)の就職ガイダンス

日時:2023年3月12日(日)

12:00~16:30

会場:ホテルエバニビスタ

内容:学生向け国家試験対策

セミナー

病院就職ガイダンス

●長野県内の約50病院が参加します。

●参加により嬉しい特典があります!

●申し込み方法などの詳細は

専用サイト、二次元コードから



信州で看護。



2023年度 セカンドレベル応募について

2023年度ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル募集要項が協会ホームページにアップされています。セカンドレベル受講の応募をお待ちしております。

セカンドレベル応募期間

2023年1月6日(金)~25日(水)必着 募集人数60名

認定看護管理者教育課程運営委員会

「香害」について

洗濯洗剤・柔軟剤・シャンプー等に使われている合成香料が原因の化学物質過敏症があることをご存じでしょうか。これは「香害」と呼ばれています。これらの匂いは自分自身では気づきにくいものです。香料によって苦しんでいる方がいます。医療介護現場では匂いの強い化学香料の使用を避けましょう。



放送大学、あなたも始めてみませんか!!
…全国で約1万人の看護師の皆さんのが学ばれています…

学位授与機関を利用し、
学士(看護学)の取得を目指します

特定行為研修 共通科目を受講しています

看護師国家試験の受験資格の取得を目指しています

大学卒業を目指しています

2023年
4月入学生募集 3月14日(火)まで
インターネット出願も可能です

長野学习センター及び長野市生涯学习センターにおいて
入学個別相談会を開催します

※開催日等については、下記までお問い合わせください。

放送大学
長野学习センター

〒392-0004 諏訪市諏訪1-6-1 アーク諏訪3階
☎ 0266-58-2332 ◇月曜日・祝日休み

新年の挨拶

「つなぐ看護」～育もう次世代の看護～をテーマに多くの皆様に御協力頂き、新年号まで発行することができました。新型コロナウイルス感染症の勢いは今年度も強く、各職場・看護協会の様々な場所に影響を与えています。その中でも前向きに取り組んでいる方々の姿や意見を紹介することで、看護をつないできました。広報出版委員会もZoom会議で作業に制限が生じたり、委員自身も各職場が厳しい状況下ではありましたが、より良く楽しい広報紙になるよう努力してきました。これがコロナを乗り越え、次の未来に続くための看護職全員の励みの一端になれば嬉しく思います。最後に活動に協力して頂いた多くの方々、委員の皆様、及び看護協会関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



広報出版委員長 北川 明子

佐久大学大学院プライマリケア 看護コースがパワーアップします!

本コースでは、診療看護師(NP)の養成を行っています。
以下のように学習環境の整備を進めています。

- ①医療的ケア児～高齢者を対象に医療的ケアを実施できるよう教育内容を充実
 - ②特定行為研修修了者の既修得単位を認定
 - ③文部科学省から『職業実践能力育成プログラム』の指定を受け、高額の就学資金が得られる。
- いずれも条件があるため詳細は下記にお問い合わせください。

入試広報課

[TEL:0267-68-6680 E-mail: admission@saku.ac.jp]

82Debit

現金感覚で使えます!

お支払いはその場で口座引落し
ポイントも貯まります!



くわしくは
こちら



〈初年度年会費無料〉

八十二銀行

MAZDA CX-3
特別仕様車 Super Edgy

Mazda

甲信マツダ <https://www.koushin-mazda.co.jp>

発行 公益社団法人 長野県看護協会
〒390-1080 松本市旭一丁目三四四

発行責任者 松本あつ子

印刷 (株) プラルト

